
ぐちゃぐちゃな愛

S

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ぐちゃぐちゃな愛

【Nコード】

N3968Q

【作者名】

S

【あらすじ】

どうやって人を愛すればいいのなんて子供のころ、誰も教えてくれなかった。

好きだから、あなたをぐちゃぐちゃに傷つきたい。そう告白した私は、いつものようにあなたが私を受け止めてくれると確信していた。けどあなたは私を叱ってくれた。歪んだ愛しか与えられない私のそばにあなたはいつもいてくれた。

どうやって人を愛すればいいのかなんて子供のころ、誰も教えてくれなかった。

だからなのかは分からない。

私は22歳で結婚をした。

ただ、私は家族が欲しかった。

昔コマーシャルで見たような家族。

絵に描いたように仲良く夫婦が年を取り、おじいちゃん・おばあちゃんになっても二人かたく手を繋ぐような夫婦。

そんな夫婦になりたかった。

だけど現実とは違っていた。

私は25歳で離婚をし、26歳であなたと出会い30歳になる今、一緒に暮らしている。

あなたは私がすることに本気で怒ったことはただの一度もなかった。

私以外の人はあなたを恐い人間だと言っていたのに、あなたは私を一度も叱らなかった。

たとえば、私が洗濯機のフタを閉め忘れたときも。

たとえば、私が野菜を炒めているフライパンから具が落ちようとも。

あなたは決して叱らなかった。

だから私はあなたに甘えてしまったのだろう。

あなたが好き。

その愛はいつしか歪み始めていた。

あなたが好きだから、あなたをぐちゃぐちゃに傷つけたい。

こんな感情をだれが理解してくれるのだろうか。

きっと自分でも理解できない苦しさからあなたに告白したのだと今になって思う。

だって私は、22歳で結婚をして切符をわざとではないにしろ線路ではない地面に落としただけで、殴られていた。

生きる価値がないと散々言われ、壁に頭を打ち付けられ、お腹を足で殴られ、びりびりに破れたパジャマで家から追い出されていた。

そんな夫婦生活を送っていた私に愛を表現することなど可能なのだろうか？

毎晩、警察に保護をされていた私がそれでもあなたと出会い、あなたを傷つけないよう、

元旦那と同類の人種にならないよう努めていたが、行き着くところは同じだった。

だから私は告白をした。

あなたを傷つける前に醜い私を知って欲しかった。

あなたたは私と一生の人生を望んでくれている。

だけど私は恐い。

あなたと、いつか生まれてきて欲しい子供に私はぐちゃぐちゃな愛を与えてしまいかもしれない。

だから告白したのだ。

あなたをぐちゃぐちゃに傷つけたい。

好きだから。好きだからどう表現したらいいのかわからないのだ。

そんな私をあなたは叱ってくれた。

てつきりいつものように「どんなことでも受け止めるよ。大丈夫だよ」

そう言ってくれると思っていた。

だけどあなたは私を叱り、ぐちゃぐちゃな愛から救い出してくれた。

もし救ってくれなければ、あなたを地獄に引き連れ私たちは終わっていたかもしれない。

どうやって人を愛すればいいのかなんて子供のころ、誰も教えてくれなかった。

誰も教わっていなかったのかもしれない。

私は思い出した。

あなたと出会い、男性が恐く感じてたころ抱きしめられるだけで体が固まっていた。

キスをするだけで全身が震えていた。

恐ろしい夢を見るたびにあなたは「大丈夫だよ」と抱きしめてくれていた。

あなただけは信じられる男性で、あなただけが唯一私を信じてくれる男性であった。

私のぐちゃぐちゃな愛は、ひょっこりまた顔を出すかもしれない。

だけど私はあなたから教わった愛を忘れないであなたと生きていこうと思う。

忘れてしまったとき一番に、あなたがそばにいてほしいから・・・。

（後書き）

眠れない夜に書きました。

正直な話、ノンフィクション99%です。

そう書いてみてフィクションの部分を考えてみましたが、見当たらないように感じます^^；

ただ感謝の気持ちを残してみたくて書いてみたらラブレターになっ
てしまったことに後から気がつきましたが、大切に思う人を大切
にして欲しい。

そんな思いで書いた作品です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3968q/>

ぐちゃぐちゃな愛

2011年1月28日08時15分発行